

2021年5月19日・21日・23日・25日・6月5日・6日
7月5日・12日・16日・19日・24日
8月11日・14日・15日・25日 ii・30日
9月2日・3日
2022年1月3日

ベトナムの Covid 対策の一貫性

ベトナムの Covid 対策の基本は、2020年3月～4月の三つの政府首相指示（15号指示 [3月27日]、16号指示 [3月31日]、19号指示 [4月24日]）によって決定され、現在まで一貫している。感染拡大が生じた場合、各地方もそれに従って地方ごとの対策を立てている。また、マスメディアも三つの指示に規定された対策の相違についてわかりやすく解説している。それらの啓蒙資料を下に引用しておく。

陽性確認者を F0 とし、第一次接触者 F1 から第四次接触者 F4 まで追跡する方法も 2020年3月上旬に考案されている。

<https://tdtt.gov.vn/seagame/xac-dinh-f0-f1-f2-f3-lien-quan-dich-covid-19-the-nao>
<http://bachmai.gov.vn/tin-tuc-va-su-kien/y-hoc-thuong-thuc-menuleft-32/6102-cach-phan-loai-cach-ly-ngua-lay-dich-covid-19-ai-cung-can-biet.html>

日本の三密対策に相当する 5K は 2020年8月末に医療省より提案されている。

<https://ncov.moh.gov.vn/en/-/bo-y-te-khuyen-cao-5k-chung-song-an-toan-voi-dich-benh>

khoanh vùng（感染地区を囲い込む）という方法は、covid19 流行以前からベトナムの防疫対策で使われてきたものであるが、中国における感染爆発の情報が伝わると、2020年1月26日にヴ・ドゥック・ダム副首相はこの方針に言及し、2月11日にその重要性を強調している。

[.: VGP News .: | Nhất định không để dịch nCoV lây lan ra cộng đồng | BÁO ĐIỆN TỬ CHÍNH PHỦ NƯỚC CHXHCN VIỆT NAM \(baochinhphu.vn\)](http://baochinhphu.vn)

[.: VGP News .: | Phó Thủ tướng: Khoanh vùng dập dịch cho bằng được | BÁO ĐIỆN TỬ CHÍNH PHỦ NƯỚC CHXHCN VIỆT NAM \(baochinhphu.vn\)](http://baochinhphu.vn)

その後一貫してこれがベトナムの covid 対策の中心となっている。

この1月の感染拡大にしろ今月の感染拡大にしろ、工業団地が関わっている。経済活動を止

めないことと防疫対策の両立にベトナムも苦勞している。

なんとか感染爆発を防いでいるのだが、なかなか厳しい様子である。そんななか国会代表の選挙が全国的に行われている。

ベトナムの感染拡大が止まらない。従来の方法の限界か？

6月に入ったが、引き続きベトナムが苦戦中である。対応の難しい変異種の出現及び経済活動維持の重視という条件が、従来の方法論の効果を低減させているように見える。

ベトナム政府はワクチン購入費用を捻出するための基金をつくり大々的に国民に寄付を求めている。全国（あるいは海外の）の各種団体や企業から個人まで積極的に呼応しているようだ。ベトナム民主共和国成立初期の寄付運動を彷彿とさせる。

7月に入っても感染拡大が止まらない。ベトナム方式の限界が露呈しているようだ。これだけ感染が広域に拡大すると囲い込み作戦ではなかなか収束しないようである。変異株の感染速度や経済活動の維持方針なども防疫を困難にしている。とはいえ他に妙策も無い以上、頑張っただけ従来の方針を貫き感染大爆発を防ぐしかあるまい。しかし、幸運なことにいまのところ死亡者はそれほど増えてはいない（今後どうなるかはわからないが）。ワクチンはベトナムではまだ普及していないが、局地的には効果があるのかもしれない。あまり軽々に語るべきではないが、ウイルスが弱毒化しつつあるという可能性もあるのではないかとも思う。民間の簡易検査の拡大を推奨する記事もみかけた。うまく適切な囲い込み作戦につなげることが出来るとよいが、偽陰性者の自由行動が感染拡大の要因にならないともかぎらない。

7月中旬に入り、伝家の宝刀、政府首相十六号指示に基づく社会隔離政策がホーチミン市をはじめとする南部の主要都市に適用された。うまくゆくことを祈る。

感染者が増え続けているホーチミン市に全国各地の医療従事者（志願者）が大規模に派遣されている。トゥアティエン・フエ、ダナン、ゲアン、タインホア、クワンニン、ハイフォン、ハイズオン、タイビン、バックザン、バックニン、ナムディン、フート、イエンバイ、ターイグエン…。ベトナムならではである。

感染者の増加がなかなか止まらない。東南アジア全体の感染者増加と連動しているようである。南部全体に 16 号指示の適用が拡大された。

さらにいくつかの都市に 16 号指示適用。

7月24日ハノイに16号指示適用。

その後も16号指示の適用範囲が拡大されたり期間が延長されたりしているが、8月上旬までに効果は現れていない。しかし、16号指示＝社会隔離を厳格に守ることで効果が出るだろうという姿勢をベトナムは崩していない。Covid19防疫国家指導委員会委員長のヴ・ドゥック・ダム副首相がこの一か月近く南部各省を視察して作戦を立て直しているようだ。単なる「地域の囲い込み *khoanh vùng*」ではなく「地域戦略 *chiến lược vùng*」ということ言い始めた。感染源の追跡や囲い込みだけでなく、感染の広がっていない安全地帯を維持することを強調している。安全な「青色地域 *vùng xanh*」を形成ししっかりと維持しつつ、感染のひどい「赤色地域 *vùng đỏ*」を取り囲んで狭めてゆくという構図のようだ。この動きは各省内で展開されるとともに比較的安全な諸省全体で「青色包囲圏 *vành đai xanh*」を形成しホーチミン市の「赤色地域」を取り囲む。基本的に包囲作戦の発想のようである。うまくゆくことを祈る。

この作戦がうまく行くか否かは未知数である。しかし、このベトナムの政治的姿勢から日本が学ぶべきことは多い。防疫とは国土防衛だということだ。実はベトナムはこの四月から密入国の取り締まりをかなり強化している。逆に言えば、平時には密入国はお目こぼしの部分があったのだ。ここから左派の国家否定論者は国家の虚構性を言い募るかもしれないが、それは間違っている。普段から厳しく取り締まるのはコストが高い。いざとなったら国防のために正当にきちんと取り締まれること、それが国家の存在意義である。その意識が日本政府にも自民党にも欠けている。安倍前首相をはじめとする自民党のタカ派もそうだ。自民党は何のために存在しているのか、真面目に問い直した方がよい。

自助で行動制限はできる。それだけでコロナは解決しない。自助に対して公助と言うのは誤解を招く。単なる公的な手助けというような副次的・補助的な話ではない。国家の存在理由の根幹にかかわる問題である。ワクチンを安定的に確保すること(本来は国産が望ましい)、まともなアプリ(現代国家の基盤)を提供できること、救急医療体制を安全に維持すること、これが国家の基本的な役割だ。それが出来ない日本は明かに劣化国家である。それを自覚すべきだし、それを自覚したなら、もっと真摯に必死に修復の努力をすべきだ。アメリカからワクチンを確保できた(それ自体は有難いことだ、日米同盟様様である)からそれでいいだと開き直る人間に国家の長たる資格はない。そんな国家に愛想をつかした国民の少なからぬ部分が行動制限の要請を無視してもムベなるかなである。国家が国家としての体をなしてこそ自助に励むことができるのだ。

新自由主義者はこのような国家への固執を嗤うのだろうか。グローバル化した流通のなかで物資の調達を確保しておけば大丈夫という前提は危ういものになった。去年はマスクが必要なときに手に入らなくなった。半年後には市場にあふれかえったからよいではないかと言うのかもしれない。しかし、その間に一つの有能な政権が倒れた。ワクチンもそうだ。今年の4月ごろまではワクチンの遅れは致命的であった。6月以降の

巻き返して現政権（これは倒れても惜しくはないが）も日本国民も命拾いした。世界的な流通のなかでいつでも好きなものが手に入るわけではない。必需物資に関する国策を真面目に考えることは馬鹿げたことではない。

新自由主義的アナーキズムは個人の国家への依存を嫌う。しかし、オリンピックのような国家事業に寄生しているとすれば、その人たちが国家の意義を愚弄する資格はない（規制緩和一般もそうだ。他人の既得権をかすめ取ろうというだけなら、そこに自由など生まれぬ）。さらに話を広げれば、日本銀行（これが政府でないというのは形式論にすぎないだろう）が大株主になっているような経済を批判できない新自由主義者を私は信用しない。もしかすると You Tuber は初めて国家から完全に自立した自由な経済主体となったのかもしれない（通信インフラもその気になれば民間だけ整備可能か？）が、やはり限定されたジャンルのようにも思える（参加は自由だが、成功者は限られる）。

おそらく日本に（あるいは世界に）新自由主義など存在しなかった。80年代の民営化（労組の弱体化）、90年代以降の非正規雇用（自己責任論）の拡大はあったが、小さい政府や市場の全き自由など実現せず、財政規模（特に社会保障費）は増え続けた（これをもって自民党政権は中道左派だという声も聞こえるが、そういう枠組み自体が時代錯誤だろう）。非正規雇用の拡大がマイカンパニー主義的なパターンリズム・クライアントリズムの忌避（左派的？）と並行して展開したことも忘れるべきではない（学界では親密圏〈従属的でない親しさ〉なんて言っているが、いかにも弥縫的で嘘くさい）。すべてを新自由主義に帰責し存在しない敵と空しく戦う左派政党に全く存在意義が無いことは言うまでもない。

→歳出の GDP 比で見ると確かにヨーロッパ先進国に比べると日本の政府は小さい。しかし、この視点で見ると中国や韓国の政府は遥かに小さい。韓国の場合、それをデジタル化で補っているのであれば、見習うべきところがあるのかもしれない。かつ、大事なことは日本の歳出の GDP 比のここ 30 年の推移を大局的に見たとき政府が特段小さくなってはいない（時期により GDP の動向などの影響を受けて上昇・下降トレンドはあるにしても）ということである。情報源はネットのサイトの「世界経済のネタ帳」である。このサイトも便利なのだが、できれば信頼できる元データを csv 形式で提供してくれるようなサイトがあらまほしい。そういうものを使って自分で表やグラフを作ることこそ是非市民の常識にしたらよい。中学校当たりで徹底的に叩き込むのが良い。

ロックダウンの有効性が問われているが、おそらく有効なロックダウンと無効なロックダウンがあるのだろう。オーストラリアやニュージーランドの成功とその他の失敗を比較する情報が欲しい。こういう問題について客観的で公正な情報を提供するのが、公共放送の本当の存在意義であろう。

→8月半ばになりオーストラリアではややほころびが見えてきたようだ。ニュージーランドと台湾はなんとか耐えているようだが、今後どうなるか。ロックダウンをどう評価すべきか、よくわからない。

野戦病院については私も去年の段階で再三言及した。日本共産党周辺がいまさらそれを持ち出し、しか

もオリンピックの選手村をそれにあてるように主張している。オリンピックの開催が不透明な段階ならともかく今それを言うのはとことんズレている。政権の怠惰を印象付け自分たちがちゃんと提案していますというポーズを強調する(自分たちは常に正義です、か？くそくらえ)ための意味のない批判のための批判である。本気で出来ると思っているのならただの馬鹿である。日本共産党は本当に要らない。何度も繰り返すが、この勢力を日本の政治から消し去ることが日本の急務である。そういうことではないのだ。日本の一貫した方針の一つは重症者の救済である。重症者が急増し、救急医療がひっ迫しているのであるから、それに特化した施設を作ることが急務である。かつ長期的な展望を持つべきだ。パンデミックはこれで終わりではない。今後も繰り返すであろう災難に備えるために研究所付置のパンデミック対応病院の建設を考えるべきだ。平時は普通の医療機関として機能するが、パンデミック時には入院者を他の病院に移してパンデミックの重症者対応に特化するようなイメージである。

→8月下旬、コロナ救急の臨時施設を各地に設けるようだ。これを将来的なパンデミック専門施設につなげていけないか。

ベトナムのコロナによる累計死者数が5000人を超えた。ベトナムの2020年の人口は9700万人であるから、日本よりはまだよい成績であるが、このままの趨勢が止まらないなら日本を下回ることになるだろう。そういう意味ではベトナムはもはや成功してはいない。その「失敗」の要因は二つあるだろう(経済との両立問題及びデルタ株の感染速度を擱いて)。一つは2020年の防疫作戦が成功してしまったことである。このため2020年の終わりごろにはベトナムはマスク無しの日常生活に戻っていた。この油断状態から再び「戦時体制」に戻るのには容易ではない。おそらく2020年前半の厳格な社会隔離の水準を実現するのは難しいだろう。もう一つはワクチン接種率の低さだ(接種完了者は1%台だろう)。逆に言えば、このワクチン接種率で死亡者をこの水準に留めているという点でベトナムの社会隔離政策は意味を持っている(し、その断固たる姿勢には学ぶものがあると考え)。日本政府のワクチン確保の経緯については是非誰か詳しくまとめてほしい。これがなかったら日本は地獄だったに違いない。そして、この点においても有害無益な日本共産党は本当に要らない。

8月末ベトナムのコロナの死亡者が一万人を超えた。社会隔離政策の限界が露呈している。とはいえ、感染爆発を南部の都市部に封じ込めているという点は依然として意味はあるのだろう。

9月に入っても感染の拡大は止まらないが、ファン・ミン・チン首相はいつまでも社会隔離を続けるわけにはいかないと発言した。それはその通りだが、さてどうするのか。

東京では酸素ステーションでの抗体カクテル療法の適用が始まる。この治療方法が効果的であることをまず祈りたい。そしてもしそれが成功すれば、各国の参考にもなるだろう。どうなるか。→**抗体カクテル療法は費用対効果の点で期待できないという意見もある。ただし国民**

規模で行うワクチン接種の全費用よりは遥かに小さいであろう。効果次第である。

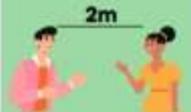
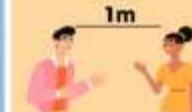
2021年8月にベトナムの運命は大きく変わった。同年8月1日の時点でCovidによる累積死者数はまだ1306人であった(以下のデータはすべてOur world in dataによる)。デルタ株がこの8月に一気に感染爆発し、この一か月で9758人が亡くなった。その後も感染は制御できず2022年1月3日までの累積死者数は32828人となっている。デルタ株流入以前、ベトナムのデルタ対応は確かに見事であった。そのことは忘れるべきではない。しかし、Covidは手ごわい。世界中の政府が翻弄されている。ベトナムもその魔手を逃れることができなかった。

日本もそうである。日本は2021年の前半に大きな打撃を受けた。しかし、日本はデルタ株の流入に対しては、それをなんとかしのぎ、2021年の後半は世界的にも異例なほど落ち着いた状況となった。その転機となったのが、やはり2021年8月であった。菅首相はオリンピック開催を前提としつつ、ワクチン接種を精力的に推し進めた。オリンピックは無観客開催と最終的に決断し、選手、報道関係者の防疫にも意を払った。病床の圧迫に対して酸素ステーションの設置や抗体カクテル療法の導入がなされた。勿論医療関係者の必死の努力の賜物であることは忘れてはならない。飲食店の営業を制限し国民の自粛を求めた。

しかし、左派リベラルは菅首相がオリンピックを強行して生命を軽視したという。本当だろうか。2021年8月の日本におけるCovidの死亡者は874人である。少ないというつもりはない。尊い生命が失われたことは重く受け止める必要がある。しかし、どの国の政府も同じように変異種に苦勞したことに留意すべきだ(また日本でも感染が微増傾向を示している。本当に嫌な相手である)。2021年12月の韓国におけるCovidの死亡者は1966人である(日本の人口は韓国の人口の2.4倍である)。治療を受けられずに亡くなったひともいると聞く。韓国政府は生命を軽視したのだろうか。そんなことはないだろう。日本政府もベトナム政府も韓国政府も生命を軽視したわけではない。それなのに菅政権の批判するために生命を持ち出した。生命という言葉を脅し文句として政治利用したわけである。これこそ生命の軽視ではないか。

最近、NHKのドキュメンタリーで東京オリンピック反対デモにバイトで雇われたという人が出てきた。そこから目をそらそうとしたのかは知らないが、左派リベラルの一部は、急に菅政権のオリンピック対応の批判をまた始めている。こういう党派的振る舞いにどつぶりハマった当事者に何を言っても無駄なのだろう。しかし、彼らを支持することが良心的であると勘違いしている人たちは是非目を覚ましてほしいと願う。

Sự khác biệt giữa
CHỈ THỊ 15 **CHỈ THỊ 16** **CHỈ THỊ 19**
 của Thủ tướng Chính phủ

	Chỉ thị 15	Chỉ thị 16	Chỉ thị 19
Tập trung đông người	<p>Sự kiện tập trung <20 người/phòng</p>  <p>Tập trung <10 người ngoài công sở, trường học, bệnh viện</p> 	<p>Cách ly toàn xã hội mọi người dân phải ở nhà, chỉ ra ngoài khi thật sự cần thiết.</p>  <p>Tập trung <2 người ngoài công sở, trường học, bệnh viện</p> 	<p>Dừng lễ hội, nghi lễ tôn giáo, giải đấu thể thao, sự kiện tập trung đông người</p>  <p>Không tập trung đông người nơi công cộng, ngoài công sở, trường học, bệnh viện.</p> 
Khoảng cách an toàn tối thiểu	<p>2m</p> 	<p>2m</p> 	<p>1m</p> 
Các cơ sở kinh doanh	<p>Tạm đình chỉ hoạt động các cơ sở kinh doanh dịch vụ</p> 	<p>Tạm đình chỉ hoạt động các cơ sở kinh doanh dịch vụ</p> 	<p>Đóng cửa các khu vui chơi, giải trí, karaoke, massage, bar, vũ trường...</p> 
Hoạt động vận tải	<p>Hạn chế di chuyển từ vùng có dịch đến các địa phương khác</p>  <p>Hạn chế di chuyển hành khách từ Hà Nội, TP Hồ Chí Minh đến nơi khác</p> 	<p>Dừng di chuyển từ vùng có dịch đến các địa phương khác</p>  <p>Dừng hoạt động vận chuyển hành khách công cộng</p> 	<p>Xe khách lên tỉnh, nội tỉnh, taxi được hoạt động trở lại</p> 

Sự khác biệt giữa Chỉ thị 15, Chỉ thị 16 và Chỉ thị 19 của Thủ tướng Chính phủ

	Chỉ thị 15	Chỉ thị 16	Chỉ thị 19
Tập trung đông người	<p>Dừng các sự kiện tập trung trên 20 người 1 phòng.</p>  <p>Không tụ tập từ 10 người trở lên ngoài công sở, trường học, bệnh viện.</p> 	<p>Cách ly toàn xã hội, mọi người dân phải ở nhà, chỉ ra ngoài khi thật sự cần thiết.</p>  <p>Không tụ tập quá 2 người ngoài công sở, trường học, bệnh viện.</p> 	<p>Dừng lễ hội, nghi lễ tôn giáo, giải đấu thể thao, sự kiện tập trung đông người.</p>  <p>Không tập trung đông người nơi công cộng, ngoài công sở, trường học, bệnh viện.</p> 
Khoảng cách an toàn tối thiểu			
Các cơ sở kinh doanh	<p>Tạm đình chỉ hoạt động các cơ sở kinh doanh dịch vụ.</p>  <p>Chỉ các cơ sở kinh doanh các loại hàng hóa, dịch vụ thiết yếu được mở cửa.</p> 	<p>Tạm đình chỉ hoạt động các cơ sở kinh doanh dịch vụ.</p>  <p>Chỉ các cơ sở kinh doanh các loại hàng hóa, dịch vụ thiết yếu được mở cửa.</p> 	<p>Vẫn đóng cửa khu vui chơi, giải trí, karaoke, mái xê, bar, vũ trường, cơ sở làm đẹp...</p>  <p>Mở cửa trở lại:</p> <ul style="list-style-type: none"> Nhà hàng, quán ăn, số 10, khách sạn, bán buôn, bán lẻ. Danh lam thắng cảnh, khu di tích, khu thể thao. 
Hoạt động vận tải	<p>Hạn chế di chuyển từ vùng có dịch đến các địa phương khác.</p>  <p>Hạn chế vận chuyển hành khách từ Hà Nội, TP. HCM đến nơi khác.</p> 	<p>Dừng di chuyển từ vùng có dịch đến các địa phương khác.</p>  <p>Cơ bản dừng hoạt động vận chuyển hành khách công cộng.</p> 	<p>Xe khách liên tỉnh, nội tỉnh, taxi được hoạt động trở lại.</p>  

KHÁC BIỆT GIỮA CHI THỊ 15 - CHI THỊ 16 - CHI THỊ 19 CỦA THỦ TƯỚNG CHÍNH PHỦ

	Chi thị 16	Chi thị 15	Chi thị 19
Tập trung đông người	<ul style="list-style-type: none"> ➤ Cách ly toàn xã hội. Mọi người dân phải ở nhà, chỉ ra ngoài khi thật sự cần thiết.  <ul style="list-style-type: none"> ➤ Không tập trung quá 2 người ngoài công sở, bệnh viện, trường học và nơi công cộng. 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ Dừng các sự kiện tập trung trên 20 người 1 phòng.  <ul style="list-style-type: none"> ➤ Dừng tất cả các hoạt động văn hóa, thể thao, giải trí  <ul style="list-style-type: none"> ➤ Không tụ tập từ 10 người trở lên ngoài công sở, bệnh viện, trường học. 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ Dừng lễ hội, nghi lễ tôn giáo, giải đấu thể thao, sự kiện có tập trung đông người.  <ul style="list-style-type: none"> ➤ Không tập trung đông người tại nơi công cộng, ngoài công sở, bệnh viện, trường học. • Đối với Tỉnh, Thành phố trực thuộc TW có nguy cơ: Không tập trung quá 20 người. • Đối với Tỉnh, Thành phố trực thuộc TW có mức nguy cơ thấp: Không tập trung quá 30 người.
Khoảng cách an toàn tối thiểu			
Các cơ sở kinh doanh	<ul style="list-style-type: none"> ➤ Tạm đình chỉ hoạt động các cơ sở kinh doanh dịch vụ.  <ul style="list-style-type: none"> ➤ Các cơ sở kinh doanh các loại hàng hóa, dịch vụ thiết yếu được hoạt động nhưng phải thực hiện nghiêm các biện pháp chống dịch. 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ Tạm đình chỉ hoạt động các cơ sở kinh doanh dịch vụ.  <ul style="list-style-type: none"> ➤ Các cơ sở kinh doanh các loại hàng hóa, dịch vụ thiết yếu được mở cửa. 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ Tạm đình chỉ hoạt động các cơ sở kinh doanh không thiết yếu: karaoke, quán bar, mát-xa, cơ sở làm đẹp, vũ trường...  <ul style="list-style-type: none"> ➤ Mở cửa trở lại: • Nhà hàng, khách sạn, quán ăn, bán buôn, bán lẻ... • Khu tập luyện thể thao, khu đi tích, danh lam thắng cảnh. 
Hoạt động vận tải	<ul style="list-style-type: none"> ➤ Dừng hoạt động vận chuyển hành khách công cộng, trừ trường hợp cần thiết.  <ul style="list-style-type: none"> ➤ Hạn chế tối đa hoạt động của các phương tiện cá nhân. 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ Hạn chế di chuyển từ vùng có dịch đến các địa phương khác.  <ul style="list-style-type: none"> ➤ Hạn chế các chuyến bay từ Hà Nội, Thành phố Hồ Chí Minh đến nơi khác. 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ Dịch vụ vận chuyển hành khách công cộng, liên tỉnh, nội tỉnh được hoạt động trở lại.  <ul style="list-style-type: none"> ➤ Dịch vụ vận chuyển hành khách bằng đường hàng không áp dụng các biện pháp phù hợp đặc thù, bảo đảm an toàn cho hành khách. 

SỰ KHÁC BIỆT GIỮA

CHỈ THỊ 15, CHỈ THỊ 16 VÀ CHỈ THỊ 19 CỦA THỦ TƯỚNG CHÍNH PHỦ

24/04/2020 | KINH14.VN

CHỈ THỊ 15

Ngày 23/4/2020

CHỈ THỊ 16

Ngày 23/4/2020

CHỈ THỊ 19

Ngày 26/4/2020

TẬP TRUNG ĐỒNG NGƯỜI



• Dừng các sự kiện tập trung trên 20 người 1 phòng.



• Cách ly toàn xã hội, mọi người dân phải ở nhà, chỉ ra ngoài khi thật sự cần thiết.



• Dừng lễ hội, tôn giáo, giải đấu thể thao, sự kiện tập trung đông người.



• Không tụ tập từ 10 người trở lên ngoài công sở, trường học, bệnh viện.



• Không tụ tập quá 2 người ngoài công sở, trường học, bệnh viện.



• Không tập trung đông người tại nơi công cộng, ngoài công sở, trường học, bệnh viện.

KHOẢNG CÁCH AN TOÀN TỐI THIỂU



2m



2m



1m

CÁC CƠ SỞ KINH DOANH



• Tạm đình chỉ hoạt động các cơ sở kinh doanh dịch vụ.



• Vẫn tạm đình chỉ các cơ sở kinh doanh dịch vụ.



• Vẫn đóng cửa khu vui chơi, giải trí, cơ sở làm đẹp, karaoke, massage, quán bar, vũ trường.



• Chỉ các cơ sở kinh doanh các loại hàng hóa, dịch vụ thiết yếu được mở cửa.



• Chỉ các cơ sở kinh doanh các loại hàng hóa, dịch vụ thiết yếu được mở cửa.



• Mở cửa trở lại với nhà hàng, quán ăn, khách sạn, số 10, bán buôn, bán lẻ...
• Đành làm thẳng cánh, khu đi tích, khu thể thao hoạt động trở lại.

HOẠT ĐỘNG VẬN TẢI



• Hạn chế di chuyển từ vùng có dịch đến các địa phương khác.



• Dừng di chuyển từ vùng có dịch đến các địa phương khác.



• Xe khách liên tỉnh, nội tỉnh, taxi... được hoạt động trở lại.



• Hạn chế vận chuyển hành khách từ Hà Nội, TP HCM đến nơi khác.



• Có bản dừng hoạt động vận chuyển hành khách công cộng.

CHỈ THỊ 15



ĐƯỢC PHÉP



HẠN CHẾ



NGHÊM CẢM



SỰ KHÁC BIỆT GIỮA CHỈ THỊ 15, CHỈ THỊ 16 VÀ CHỈ THỊ 19 CỦA THỦ TƯỚNG CHÍNH PHỦ

CHỈ THỊ 15	CHỈ THỊ 16	CHỈ THỊ 19
Không tập trung đông người		
 <p>Dừng các sự kiện tập trung trên 20 người 1 phòng</p>	 <p>Không tụ tập từ 10 người trở lên ngoài công sở, trường học, bệnh viện</p>	 <p>Cách ly toàn xã hội, mọi người dân phải ở nhà, chỉ ra ngoài khi thật sự cần thiết</p>
 <p>Không tụ tập quá 2 người ngoài công sở, trường học, bệnh viện</p>	 <p>Dừng lễ hội, nghi lễ tôn giáo, giải đấu thể thao, sự kiện tập trung đông người.</p>	 <p>Không tập trung đông người nơi công cộng, ngoài công sở, trường học, bệnh viện</p>
Khoảng cách an toàn tối thiểu		
 <p>Giữ khoảng cách tối thiểu 2 mét</p>	 <p>Giữ khoảng cách tối thiểu 2 mét</p>	 <p>Giữ khoảng cách tối thiểu 1 mét</p>
Các cơ sở kinh doanh		
 <p>Tạm đình chỉ hoạt động các cơ sở kinh doanh dịch vụ</p>	 <p>Chỉ các cơ sở kinh doanh các loại hàng hóa, dịch vụ thiết yếu được mở cửa</p>	 <p>Tạm đình chỉ hoạt động các cơ sở kinh doanh dịch vụ</p>
 <p>Chỉ các cơ sở kinh doanh các loại hàng hóa, dịch vụ thiết yếu được mở cửa</p>	 <p>Văn đóng cửa khu vui chơi, giải trí, karaoke, massage, bar, vũ trường, cơ sở làm đẹp...</p>	 <p>Mở cửa trở lại: - Nhà hàng, quán ăn, xô số, khách sạn, bán buôn, bán lẻ. - Danh lam thắng cảnh, khu di tích, khu thể thao</p>
Hoạt động vận tải		
 <p>Hạn chế di chuyển từ vùng có dịch đến các địa phương khác</p>	 <p>Hạn chế vận chuyển hành khách từ Hà Nội, TP. Hồ Chí Minh đến nơi khác</p>	 <p>Dừng di chuyển từ vùng có dịch đến các địa phương khác</p>
 <p>Cơ bản dừng hoạt động vận chuyển hành khách công cộng</p>	 <p>Xe khách liên tỉnh, nội tỉnh, taxi được hoạt động trở lại</p>	

**ĐÀ NẴNG THỰC HIỆN NGHIÊM CHỈ THỊ 19/CT-TTG
CỦA THỦ TƯỚNG CHÍNH PHỦ TỪ 13H 26/7/2020**

NGƯỜI DÂN

Thường xuyên rửa tay bằng xà phòng hoặc dung dịch sát khuẩn

Đeo khẩu trang khi ra ngoài

Không tập trung quá 30 người tại nơi công cộng, ngoài phạm vi công sở, trường học, bệnh viện

Giữ khoảng cách tối thiểu 1 mét khi tiếp xúc

TAM DỪNG

Các hoạt động lễ hội, nghi lễ tôn giáo

Giải đấu thể thao

Sự kiện có tập trung đông người tại nơi công cộng, sân vận động

Các sự kiện lớn chưa cần thiết

**CÁC CƠ SỞ KINH DOANH THƯƠNG MẠI DỊCH VỤ (2),
KHU TẬP LUYỆN THỂ THAO, KHU DI TÍCH, DANH LAM THẮNG CẢNH**

Tạm dừng hoạt động các cơ sở kinh doanh dịch vụ không thiết yếu (1)

Được tiếp tục hoạt động nhưng phải thực hiện các biện pháp bảo đảm an toàn phòng, chống dịch

**HOẠT ĐỘNG VẬN CHUYỂN
HÀNH KHÁCH CÔNG CỘNG LIÊN TỈNH, NỘI TỈNH**

Tiếp tục hoạt động nhưng phải thực hiện các biện pháp bảo đảm an toàn phòng, chống dịch theo đúng quy định của các cơ quan chức năng

NHÀ MÁY, CƠ SỞ SẢN XUẤT

Tiếp tục hoạt động và phải thực hiện các biện pháp phòng, chống dịch cho công nhân, người lao động...

**CÁC ĐƠN VỊ, KINH DOANH DỊCH VỤ DU LỊCH,
CÁC CÔNG TY LỮ HÀNH,
CÁC CƠ SỞ DỊCH VỤ PHỤC VỤ DU LỊCH**

Tạm dừng tổ chức đón khách du lịch đến Đà Nẵng trong vòng 14 ngày, kể từ ngày 26/7/2020

**CÁC DOANH NGHIỆP, CƠ SỞ DỊCH VỤ BANG THỰC HIỆN
CHƯƠNG TRÌNH DU LỊCH HOẶC PHỤC VỤ DỊCH VỤ**

Tiếp tục phục vụ chu đáo khách cho đến khi kết thúc hành trình

Áp dụng các biện pháp đảm bảo phòng, chống dịch, trang bị khẩu trang y tế, dung dịch sát khuẩn, bố trí khu vực rửa tay bằng xà phòng và thường xuyên nhắc nhở du khách sử dụng

(1) Khu vui chơi, giải trí, cơ sở làm đẹp, karaoke, massage, quán bar, vũ trường...
(2) Bán buôn, bán lẻ, số sỉ kiến thiết, khách sạn, cơ sở lưu trú, nhà hàng, quán ăn...

CHI TIẾT CHỈ THỊ 15, CHỈ THỊ 16 CỦA Thủ tướng Chính phủ về COVID-19

○ Ng nghiêm cấm
 ○ Hạn chế
 ○ Được phép

	CHỈ THỊ 15	CHỈ THỊ 16
TẬP TRUNG ĐỒNG NGƯỜI	 <p>Dừng các sự kiện tập trung trên 20 người trên 1 phòng.</p>	 <p>Cách ly toàn xã hội, mọi người dân phải ở nhà, chỉ ra ngoài khi thật sự cần thiết.</p>
	 <p>Không tụ tập từ 10 người trở lên ngoài công sở, trường học, bệnh viện.</p>	 <p>Không tụ tập từ 10 người trở lên ngoài công sở, trường học, bệnh viện.</p>
KHOẢNG CÁCH AN TOÀN TỐI THIỂU	 <p>2m</p>	 <p>2m</p>
CÁC CƠ SỞ KINH DOANH	 <p>Tạm đình chỉ hoạt động các cơ sở kinh doanh dịch vụ.</p>	 <p>Tạm đình chỉ hoạt động các cơ sở kinh doanh dịch vụ.</p>
	 <p>Chỉ các cơ sở kinh doanh các loại hàng hóa, dịch vụ thiết yếu được mở cửa.</p>	 <p>Chỉ các cơ sở kinh doanh các loại hàng hóa, dịch vụ thiết yếu được mở cửa.</p>
HOẠT ĐỘNG VẬN TẢI	 <p>Hạn chế đi di chuyển từ vùng có dịch đến các địa phương khác.</p>	 <p>Dừng di chuyển từ vùng dịch đến các địa phương khác.</p>
	 <p>Hạn chế vận chuyển hành khách từ Hà Nội, TPHCM đến nơi khác.</p>	 <p>Cơ bản dừng hoạt động vận chuyển hành khách công cộng.</p>



Thủ tướng chỉ thị tiếp tục đẩy mạnh phòng, chống dịch COVID-19

(Chỉ thị số 13/CT-TTg ngày 11/3/2020)



MỘT SỐ NỘI DUNG QUAN TRỌNG



Tăng cường kiểm soát người nhập cảnh qua các cửa khẩu hàng không, trên bộ, hàng hải



Tạm dừng việc miễn thị thực đơn phương; hiệu lực giấy miễn thị thực cho người Việt Nam định cư và vợ/chồng, con là người nước ngoài*



Khai báo y tế bắt buộc đối với tất cả các hành khách nhập cảnh Việt Nam



Hoãn các đoàn đi công tác nước ngoài, khuyến cáo người dân không ra nước ngoài, nhất là vùng có dịch



Rà soát người nhập cảnh không thuộc diện cách ly tập trung trong 14 ngày qua, kịp thời phát hiện nguồn lây bệnh



Tổ chức cách ly hoặc giám sát người đã tiếp xúc với người bệnh theo đúng hướng dẫn của Bộ Y tế



Chuẩn bị cơ sở vật chất, nhân lực để thực hiện việc cách ly; không để lây nhiễm cho đội ngũ làm việc tại khu cách ly



Vận động nhân dân tuân thủ các biện pháp phòng chống dịch bệnh; nghiêm túc thực hiện việc cách ly, giám sát y tế



Hạn chế các cuộc họp, sự kiện và hoạt động tập trung đông người



Nghiên cứu phương thức phòng, chống, phác đồ điều trị, vaccine phòng bệnh; sớm đưa bộ Kit thử vào sử dụng



Thông tin kịp thời, đầy đủ, công khai, minh bạch về diễn biến dịch, trường hợp cách ly tập trung hoặc giám sát y tế...



Xử lý nghiêm, kể cả xử lý theo pháp luật hình sự các trường hợp đưa tin không đúng sự thật, các hành vi găm hàng, tăng giá...



Tăng cường ứng dụng công nghệ thông tin trong chỉ đạo, điều hành, học tập, khai báo điện tử, kiểm soát dịch bệnh...



Bảo đảm nguồn cung hàng hóa, nhu yếu phẩm phục vụ nhu cầu tiêu dùng của người dân



Thực hiện quyết liệt các giải pháp cụ thể, hữu hiệu để tháo gỡ khó khăn cho sản xuất, kinh doanh, bảo đảm an sinh xã hội

* Tại 8 nước Đan Mạch, Na Uy, Phần Lan, Thụy Điển, Anh, Pháp, Đức, Tây Ban Nha

Nguồn: Chính phủ

<https://infographics.vn>

© TTXVN
Vietnam News Agency